

在ブルキナファソ大使館からの注意喚起（海外安全情報）

ブルキナファソにお住まいの皆様及び旅行者の皆様へ

以下のとおり、今般、外務省はラマダン月に入ることに伴い、注意喚起の広域情報を発出しました。ブルキナファソ在住の皆様方におかれましては、内容を御確認頂き、安全対策には十分なお注意をお願い致します。当国では、昨年1月にスプレディッドホテル及びカフェ・レストラン「カプチャーノ」襲撃事件が発生しており、その後も現在まで、北部サヘル地方にてテロ組織によるものと考えられる事件が頻発しており、一層の注意が必要です。特に外国人がよく集まる飲食店（カフェ、レストラン、氷菓子店等）等への立ち入りはなるべく避けてください。

万が一不測の事態に巻き込まれた際には、昼夜を問わず日本大使館まで連絡をお願い致します。

「緊急時間問い合わせ窓口」

在ブルキナファソ日本国大使館

電話：(+226) 25 37 65 06/09 休日・夜間等緊急連絡先 (+226) 70 20 03 42

ラマダン月のテロについての注意喚起

- 5月27日（土）頃から6月27日（火）頃は、イスラム教のラマダン月及びラマダン明けの祭り（イード）に当たります。
- 近年、ラマダン期間中に多数のテロが発生しています。最新情報の入手に努め、テロの標的となりやすい場所を訪れる際には、安全確保に十分注意を払ってください。情報収集には「たびレジ」を活用してください。

☆詳細については、下記の内容をよくお読み下さい。

- 1 5月27日（土）頃から6月24日（土）頃は、イスラム教徒が日の出から日没まで断食を行うラマダン月に当たります。ラマダン終了後には約3日間（6月25日（日）頃から6月27日（火）頃）、イードと呼ばれるラマダン明けの祭りが行われます。

（※）ラマダン月の開始は目視による月齢観測に依拠するため、上記日程は直前に変更されることがあります。

- 2 イスラム過激派組織 ISIL（イラク・レバントのイスラム国）は、2015年

及び 2016 年にラマダン月の間にテロを呼びかける声明を発出しています。同声明との関係は明らかではありませんが、過去 2 年、ラマダン月に多数のテロ事件が発生しています。

特に昨年は、邦人を含む多数の犠牲者が出たバングラデシュでのダッカ襲撃テロ事件や、トルコのイスタンブールでアタテュルク国際空港の襲撃（45 人が死亡、200 人以上が負傷）などのテロ事件が発生しています（過去 2 年の主なテロ事件は別添を参照して下さい）。

また、最近では、爆弾や銃撃に加えて、車両やナイフを使用したテロや放火、窃盗など簡単に一般人を多数殺傷できるテロが呼びかけられています。

3 本広域情報発出時点で同様の声明は確認されていません。しかし、近年、ラマダン月に多くのテロが発生していることを意識し、以下の対策をお願いします。

(1) 最新の関連情報の入手に努める。

(2) テロの標的となりやすい場所（※）を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等、安全確保に十分注意を払う。

（※）観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、ナイトクラブや映画館等の娯楽施設、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設（特に軍、警察、治安関係施設）等。

(3) 金曜日に注意して下さい。金曜日はイスラム教徒が集団礼拝を行う日であり、その際、モスク等宗教施設や群衆を狙ったテロや襲撃が行われることがあります。本年のラマダン月については、6 月 2 日、9 日、16 日及び 23 日が金曜日に当たります。

4 海外渡航前には万一来に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

さらに、渡航・滞在先の国・地域において緊急事態が発生した場合、メールアドレス等を登録されている場合には、外務省から随時一斉メール等により最新の情勢と注意事項をお伝えしています。

3 か月以上滞在する方は、必ず在留届を提出してください。

(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html>)

3 か月未満の旅行や出張などの際には、「たびレジ」に登録してください。

(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/#>)

5 海外滞在中の安全対策については、「ゴルゴ 13 の中堅・中小企業向け海外

安全対策マニュアル」も参照してください。

http://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html)

(参考広域情報・スポット情報)

・フランス：パリ市内のシャンゼリゼ通りにおける銃撃事件発生に伴う注意喚起 (2017年4月21日)

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C085.html

・エジプト：コプト・キリスト教会における連続爆弾テロ事件の発生に伴う注意喚起 (2017年4月13日)

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C080.html

・フィリピン：渡航する際のテロ等に対する注意喚起 (2017年4月12日)

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C076.html

・スウェーデン：ストックホルム市におけるデパートへの車両突入事案の発生に伴う注意喚起 (2017年4月7日)

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C070.html

・パキスタン：ラホール市で発生した爆発事件に関する注意喚起 (2017年4月6日)

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C069.html

・ロシア：サンクトペテルブルク市地下鉄における爆発事件の発生に伴う注意喚起 (2017年4月3日)

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C066.html

・英国：ロンドンにおける英議会下院及び周辺でのテロ事件発生に伴う注意喚起 (2017年3月23日)

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C057.html

・バーレーン：爆弾テロ事件発生に伴う注意喚起 (2017年2月28日)

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C040.html

・トルコ：ISIL (イラクとレバントのイスラム国) 関係者摘発に伴う注意喚起 (2017年2月10日)

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C024.html

・モロッコ：テロの脅威に関する注意喚起 (2017年2月8日)

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C023.html

・ケニア：テロの脅威に対する注意喚起 (2017年2月3日)

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C021.html

・トルコ：イスタンブール市内ナイトクラブにおける銃撃テロ事件発生に伴う注意喚起 (2017年1月1日)

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2017C002.html

(問い合わせ窓口)

○外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2902, 2903

(外務省関連課室連絡先)

○外務省領事局邦人テロ対策室 (テロ・誘拐関連)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 3047

○外務省領事局海外邦人安全課 (テロ・誘拐関連を除く)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 5140

○外務省 海外安全ホームページ：

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp> (携帯版)

(了)